

JAMIT 規程 第 803 号
制定 2020年11月13日
改定 2022年10月1日

M I T 誌執筆要領

目次

	(ページ)
1. 目的	2
2. 適用範囲	2
3. 執筆上の注意	2
4. 電子付録	3
5. 使用文字種	4
6. 原稿の送付	4
7. 改廃	4
8. 附則	4

1. 目的

本要領は、一般社団法人日本医用画像工学会（以下、「本学会」という）の学会誌“MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY（以下「MIT 誌」という）”の投稿原稿の執筆基準をまとめたものである。

2. 適用範囲

本要領は、「本学会」の学会誌「MIT 誌」の投稿原稿に適用する。

3. 執筆上の注意

1) 投稿票および本文原稿は、和文または英文とし、

<http://www.jamit.jp/template-j.doc>

からダウンロードしたテンプレートに従って執筆する。MS-Word 以外（TeX など）の場合は、Word テンプレートのフォーマットに準じて準備したテキストと図表を含むファイルを作成した後、PDF で提出すること。なお、編集部より図表の原ファイルの提出が求められる場合がある。

2) 投稿票には、

- ・希望する原稿の分類（JAMIT 規程第 403 号「MIT 誌投稿規程」第 3 条を参照）
- ・論文タイトル
- ・著者リスト（氏名、所属機関、所属機関の住所、メールアドレス、会員情報を明記）
- ・コレスポンディング・オーサーの氏名、日中に連絡可能な電話番号
- ・電子付録の有無
- ・利益相反の有無
- ・生体に関わる研究の倫理指針の遵守について
- ・（想定される査読者候補がいる場合）候補者の氏名、所属機関、メールアドレス（ただし、3 名まで）
- ・希望する有料別刷部数

を明記する。

3) 本文原稿の構成（1 頁は 1600 字相当とする）は、

- ・和文タイトル、著者氏名、和文所属、和文要旨（400 字以内）、和文キーワード
- ・英文タイトル、ローマ字著者氏名、英文所属、英文要旨（200 語以内）、英文キーワード
- ・本文（倫理規範の遵守に係る事項は本文中に必ず明記すること）、文献、図の説明
- ・謝辞（必要があれば）、利益相反の有無
- ・著者紹介（150 字以内、顔写真付）

とする。英文原稿および和文原稿中の英文要旨は、著者の責任にて英文校正を行う。英文校正に費用が発生する場合は、著者が費用を負担する。ただし、紹介・報告・意見については和・英文要旨は省略でき、研究速報に著者紹介は不要とする。

4) 引用文献の記載方法

- (a) 文献は[1]、[2]、[3]..... にて文中に引用された順に記載する。
- (b) 著者名は 3 名までとし、以下は「et al.」または「他」とする。

- (c) 雑誌は著者名、論文タイトル、雑誌名、巻数、開始頁－終了頁、発行年の順に、以下の例に従って記載する。

【例】 Kudo H, Rodet T, Noo F, et al.: Exact and approximate algorithms for helical cone-beam CT. *Phys Med Biol* **49**: 2913-2931, 2004

【例】 山口昌太郎, 周 向榮, 徐 睿, 他: MDL 法を用いた三次元体幹部臓器の統計形状モデルの構築と性能評価. 電子情報通信学会技術研究報告 **111**: 93-96, 2011

- (d) 著書は著者名、書名、巻数（版数）、出版社名、発行地名、発行年の順に記載し、分担執筆の場合は執筆者名、章題、開始頁－終了頁を以下の例に従って記載する。

【例】 Muehlehner G: Scintillation camera collimators. In Nucelman S, Patton DD eds.: *Imaging for Medicine, Vol. 1*. Plenum Press, New York, 1980, pp77-87

【例】 岸上義彦, 橋本良夫: 画像解析と細胞診. 辻内順平編: 応用画像解析. 共立出版, 東京, 1981, pp198-210

- (e) 抄録集は和・英文ともに、著者名、タイトル、大会名、開催地、開催年、頁（ない場合は論文番号）の順に記載する。ただし、冊子体で発行されている抄録集から引用する場合は、冊子の刊行形態により、雑誌あるいは著書の様式にならって記載すること。

【例】 Amberg B, Romdhani S, Vetter T: Optimal step nonrigid ICP algorithms for surface registration. In *Proceedings of IEEE Conference on Computer Vision and Pattern Recognition (CVPR)*, Minneapolis, 2007, pp1-8

【例】 増谷佳孝, 根本充貴, 花岡昇平, 他: 類似度流による潜在的な解剖学的ランドマークの探索. 第 31 回日本医用画像工学会大会予稿集, 北海道, 2012, OP6-3

- (f) Web ページは発行者（発行団体）、ページタイトル、URL、閲覧日の順に記載すること。

【例】 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター: 最新がん統計. <http://ganjoho.jp/public/statistics/pub/statistics01.html> (2014 年 2 月 20 日閲覧)

- 5) 図・写真も文章と同様、テンプレートに埋め込む。ただし、埋め込んだものは十分鮮明になるよう準備し、写真は 300 dpi 程度が望ましい。
- 6) 著者校正は 1 回のみとする。著者は校正に責任を持ち、かつ至急手配すること。文章、図、表の削除、挿入等は認めない。

4. 電子付録

論文・記事等に付加される電子付録は以下に従う。

1) 著作権の保護

著者は著作権保護の立場から、公開する動画等の隅にテンプレートマーク

〔©JAMIT-Author's name-MIT〕を明記すること。

(例 ; ©JAMIT-Y.Masuda-MIT または ©JAMIT-Yoshitada.Masuda-MIT)

2) 電子付録のファイル種別と形式

2. 関連規程

- (1) JAMIT 規程第 403 号 「MIT 誌投稿規程」